

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 小樽市立高島小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒047-0048
北海道 小樽市 高島5-6-1
 E-mail : takashima-ps@otaru.ed.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 148名 女子 172名 合計 320名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校は、明治17年に開校し、今年130周年を迎え隣の祝津小学校と統合。鯉漁場として栄えた祝津・高島町、新興住宅地への変貌著しい赤岩町、カモメ団地といった様々な地域を校区としている。今年度は特別支援学級を含む16学級、全校児童320名の学校である。

今年6月にユネスコスクールに認可され、「人権・平和・福祉」を中心に、祝津地区の水族館の協力を受け、豊富な自然をもとにした「ふるさと学習」を進めている。

◆「人権」の学習 ～『人権の花』

今年度は、特別支援学級「たからじま」の児童6人が『人権の花』に取り組んだ。

花の苗の贈呈式では、「じんけんあゆみ」ちゃんが登場し、たからじま学級の子供たちは大喜び。それぞれ自分のプランターに花の苗を植え、大事に育てることを通して「じんけん」について学ぶことができた。

また、5年生は「総合的な学習の時間」で、「人権」について調べ学習を行い、保護者会で発表した。

身近な「いじめ」や「子どもの人権」について調べ、わかりやすい言葉でまとめて発表していた。本校は児童会でも同様の取組を推進しており、学校全体で「みんなが楽しい明るい学校づくり」「いじめの内学校づくり」を総会で決議し、「挨拶運動」「意見箱」等を行っている。

◆「福祉」の学習 ～ ケアハウス「はる」との交流

毎年、低学年が中心で交流を続けている。今回は、2年生が「はる」の敬老会にご招待された。2年生は音楽で習った歌をおじいちゃん・おばあちゃんの前で披露し、大きな拍手をもらった。

地域の施設との交流を通して、低学年から「福祉」について基礎を培っていく学習である。

また、6年生は『福祉体験』を行うなど、6年間を通して地域の施設とつながった活動をしている。

今年度は外部の講師を招いて指導を受け、6年生全員タオル帽子づくり（病気等のための帽子）を行い、施設に寄付する取り組みを行うことができた。



◆「平和」の学習～ 戦争のない平和な世界を！

- 北海道被爆者協会会長 越智 晴子さんの講話

3年生以上の学年で、「総合的な学習の時間」で広島原爆体験の講話を聞かせていただいた。

児童を対象にした講話のため内容はやや押さえたもので、淡々とお話をされていたが、実際の体験は悲惨で、想像以上に戦争の恐ろしさが伝わった。

「貴重な実体験を聞く」ことを通して、全員が日常の平和の有り難さと、これから自分たちも平和について考えていくことを学ぶことができた。

また、同時に小樽市教育委員会から「原爆のパネル」をお借りして展示し、合わせて「平和」への思いを高められるようにした。

【児童の感想より～3年生】

- ◆おちはる子さんの話を聞いて思ったことは、げんしばくだんの話聞いてこわいと思いました。(中略)アメリカのひこうきからげんしばくだんがおとされて多くの人のいのちをうばったせんそうは、とてもこわいものです。げんしばくだんはおそろしいものです。
- ◆わたしは、せんそうがすごくこわいものと分かりました。(中略)おちはる子さんにげんしばくだんとせんそうは、すごくこわいものだと言われて良かったです。わたしはぜったいにせんそうをしたくないです。



○越智 晴子氏の講話



○原爆パネルに見入る児童

◆ふるさと学習

～祝津地域（水族館等）の地域を活かした学習

今年度、4月の統合により広がった祝津地域を活かした「ふるさと学習」推進した。

各学年が、社会科・総合的な学習の時間・生活科等で水族館や祝津地域の歴史的な遺産などを利用し、校区の自然・歴史などを学び、その良さを感じることができた。

【1年生】～生活科の単元

- ・海の生き物について水族館で学習をした。水族館内で近隣の海からとれる魚や様々な形の魚がいることを学んだ。また、海獣ショー（セイウチ・イルカなど）のショーを見学。
- その後の「わたしたちの町のおすすめの場所」などに活かした。

【3年生】～社会科・総合的な学習の時間

・祝津地域の自然の学習として「水族館」の見学とバックヤードツアーの体験をした。実際に水族館の裏方の仕事や様子を見たり、生き物に触ったりする体験の他、水産業をはじめとする地域の産業などについても考えることができ、その後の社会科見学につなげることができた。

【4年生】～社会科

・水族館内外からの祝津地区の自然・地形観察（海獣公園など）や地域の場所の名前がアイヌ語よりきていること（メナシドマリなど）などを学んだ。また、祝津の歴史的建造物を見学し鯉漁で栄えた地域の歴史を学んだ。

【たからじま学級（特別支援学級）】～生活単元学習

・水族館を利用し、公共施設の利用の仕方を学んだ。水族館内でタッチプール、バックヤードツアー、ペンギン、アザラシへのえさやりなど日頃できない体験を通じて、生き物とのふれ合いから生命の大切さを学ぶことができた。

◆今年度の成果と課題

年間を通して指導計画に位置付けられているため、前年度と大きな取組の違いや改めで導入する部分が少なかったため活動しやすかったが、今年度途中の認可だったことからユネスコスクール ESD への理解と意識に差が見られていた。

そのため、活動は活発に行われたが、肝心の核としての「ユネスコスクール ESD」についての児童の理解が深まらなかった。

これを課題として、今後、まず教職員のユネスコスクール ESD への研修を通して、児童が系統的に取り組んでいくことや6年間で身につける内容の共通理解を深め、学校全体で推進していく基盤を固めていく。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 時間外活動の時間を使用
 ユネスコクラブの活動として実施
 その他（ ）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 その他（ ）